

平成 24 年 2 月 29 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 角田 卓也
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問合せ先) 取締役管理本部長 山本 和男
電話番号 044-820-8251

今後の開発方針についてのお知らせ

本日、〔新生血管阻害作用を期待したがん治療用ワクチン OTS102(Elpamotide、エルパモチド)第Ⅱ／Ⅲ相臨床試験 (PEGASUS-PC Study) の進捗に関するお知らせ〕にてリリースいたしました PEGASUS-PC Study の結果を受けまして、当社としましては、今後の開発計画を以下の方針で行うことといたします。

当社のがんペプチドワクチンの開発パイプラインは、提携先が開発を行うパイプラインを含めて、2 ページのとおりとなっております。これらには今回の OTS102 とは作用が異なる、ゲノム包括的解析などにより見出された、正常組織にはほとんど発現せず、がんを高頻度の高発現する腫瘍抗原を標的とする「オンコアンチゲン」由来のペプチドワクチンが多数含まれております。今回の結果を踏まえ、今後は「オンコアンチゲン」由来のペプチドワクチンの開発、および複数のペプチドをカクテルワクチンとして開発することを優先します。さらには提携先製薬会社とこれまで以上に緊密な関係を構築することにより、各開発パイプラインの進展ならびに拡充を目指してまいります。

具体的には、まず、既に平成 24 年 2 月 6 日〔がんペプチドカクテルワクチン療法剤 OCV-C01 第Ⅲ相臨床試験 (治験) 開始のお知らせ〕にてリリースいたしました当社と大塚製薬株式会社が共同開発する OCV-C01 は「オンコアンチゲン」を含み複数のペプチドを含有したカクテルワクチンであり、膵臓がんの高い抗腫瘍効果が期待されます。この OCV-C01 を用いた膵臓がんに対する COMPETE-PC Study (コンピートピーシースタディー: COMBined PEptide Therapy for Pancreatic Cancer) は、承認申請を目指した第Ⅲ相試験であり、すでに臨床試験を開始しております。今後、早期の承認をめざし、開発を促進させてまいります。

次に、当社がライセンスアウトし、塩野義製薬株式会社が開発している膀胱がんワクチンおよび食道がんワクチンも複数の「オンコアンチゲン」由来のペプチドを用いたがん治療用ワクチン製剤であり、現在第Ⅰ／Ⅱ相試験が順調に進行しております。

さらに、自社開発である胃がんに対するワクチン (OTSGC-A24) は、複数の胃がん特異的「オンコアンチゲン」由来のペプチドを用いたがん治療用ワクチン製剤であり、現在、シ

ンガポール大学にて第 I / II 相試験を実施中であり、順調に進行しております。

小野薬品工業株式会社にライセンスアウトした肝細胞がんワクチンは、肝細胞がん特異的「オンコアンチゲン」由来のペプチドを用いたがん治療用ワクチン製剤であり、現在、本年中の臨床試験開始を目指し、非臨床試験を実施中であり、順調に進行しております。

なお、平成 24 年 3 月期の業績予想につきましては、当初の予定通りに推移すると見込んでおり、平成 23 年 5 月 13 日に開示しております業績予想に変更はございません。

以上、当社の創業以来の企業使命である「有効性が高く、より副作用の少ないがん治療薬・治療法を一日も早くがんに苦しむ患者さんに届けること、がんとの闘いに勝つこと」を可能な限り早期に実現すべく、今後も研究開発を進展させてまいります。

以上

